

# 下関市立大学フグシンポジウム 「下関ふくブランドの復権に向けて」

**無料**  
オンライン

近年、養殖物のフグが主流となって以来、下関はフグの産地ではなくなり、下関フグブランドの地位が揺らいできているが、その復権に向けて下関産トラフグ養殖を行うことを提案する。

フグ養殖の3大要素は種苗、飼料、飼育環境であるが、それに流通と消費も加えて、各分野の専門家により、多角的に下関でのフグ養殖の可能性を検討する。

◆日時：<sup>ふ</sup>2月<sup>く</sup>9日（水）13:30～16:30

◆場所：オンライン開催・Zoomを使用（自宅等から視聴可能）

◆参加費：無料（視聴に伴う通信料は各自負担）

◆申込み：必要（QRコードまたは下記URLよりお申込みください）

<https://forms.gle/UEFY68m5FCrGmH2i7>

◆申込締切：2月2日（水）

◆定員：100名

◆必要ソフト：Zoomアプリ（無償版で視聴可）

◆その他：Zoomのインストール、設定等は事前に各自で行うよう願います。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学内での視聴は学生・教職員に限ります。



はじめに 開会挨拶・問題提起

## 第1部 個別講演・報告

- 「下関ふく復権に向けて～正真正銘の下関産フグで活性化を～」  
佐々木満 元みなと新聞中国支社 参与
- 「現場からの進捗状況報告」  
望月俊孝 株式会社河久 代表取締役
- 「高成長トラフグゲノム解析の成果」  
渡部終五 東京大学名誉教授・現北里大学海洋生命科学部 特任教授
- 「陸上養殖システムの現状と方向性」  
山本義久 国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校水産流通経営学科 教授
- 「下関産とらふぐ専用飼料の取り組み」  
林兼産業株式会社飼料事業部
- 「下関フグブランドの未来」  
濱田英嗣 摂南大学農学部 教授
- 「下関フグブランドの復権に向けて～ブランド・オリジン効果の観点から～」  
「下関フグブランドの経済波及効果の試算」  
佐藤隆 下関市立大学経済学部 准教授

## 第2部 パネルディスカッション

テーマ：下関フグブランドの復権へ向けての戦略的課題～科学技術論の観点から～

おわりに 閉会の辞

総合司会・コーディネーター 佐藤隆（下関市立大学経済学部 准教授）



■お申込み&お問合せ 下関市立大学都市みらい創造戦略機構（地域連携課）

〒751-8510 下関市大学町二丁目1番1号 TEL 083-254-8613 FAX 083-253-1622 E-mail [chiikirenkei@shimonoseki-cu.ac.jp](mailto:chiikirenkei@shimonoseki-cu.ac.jp)